

東海地方でたたかつの路面電車

曲豆金立新門

2015年8月21日
小源幸
古野合

人に環境にやさしい豊鉄

何所か走っていましたが、車などをみんな使うようになり少くなりました。

でも、そんななか愛知県豊橋市ではへラ年で九年になる路面電車が走っています。

そんな路面電車の工夫を調べたいと思いました。

ぼくが住んでいる東海地方では、路面電車が前年になります。



乗ってみると、まだが大きくて、車内が明るかたで、そして車内は、淨ち着いた感じで良かったです。



駅前

ひみつその1

東田坂上石畳

軌道しき
この石畠は、前畠～東田坂上間にある軌道の所についてある石のことです。あまり目立たないけど、この石畠は、なんと市内線が開通した時から使われている。

(インターネットデジタル教材
豊橋鉄道利用)

ひみつその2

井原の急カーブ
井原へ運動公園の間には、日本一急なカーブがあります。



この車両を入れたことで、お年寄りの方から、小さいい子まで、楽に乗れたりしてどこになにがあうかがすぐ分かって

なた。

そして、車内にあるモニ

ターやモニタ名のほかに

周辺のし設なども、案

内したりしてどこになに

があうかがすぐ分かって

なた。

これは全面低床式車

で、「ほーtram」と、T1000型

です。

人にはやさしい工夫

では、みんなが便利に使えるよう

電車に工夫をしていました。

人にはやさしい工夫

では、みんなが便利に

電車に工夫をして